

# 潜入! 消防署24時!



11:45

### 訓練反省

訓練が終わると、緊急時や次の訓練に生かすため、その場で、反省点などを話し合う。



11:15

### 訓練

訓練は毎日行う。さまざまな状況想定し、毎回内容を変えて行う。



8:45

### 引継ぎ

前日にあったこと、今日の予定などを、前日勤務の人が当日勤務の人へ引き継ぐ。



8:30

### 通常点検

月に1回、七尾消防署員全員が整列し、署長が、制服の乱れと消防手帳を確認。そして、点呼を行う。



14:00

### パトロール

毎日、管轄地域を巡回。消火栓や防火水槽を点検しながら、パトロールを行う。



16:30

### 事務作業

屋外の業務が多い消防士。しかし、報告書やいろいろな許可申請などの事務作業も行っている。



17:20

### 夕食準備

週に一度、若手消防士が夕食を作る。定番料理はカレー。食べるノルマは、丼ぶり2杯以上。



18:15

### 夜間訓練

調理中、抜き打ちで夜間訓練を実施。暗い中でも慌てず対応できるように訓練を行う。



0:55

### 自主勉強

出勤に備えながら、若手消防士は訓練の動画や専門書を使って勉強をしている。



23:10

### 救急救命訓練

この時間でもスキルアップに努める消防士。先輩から、新人に救命時の指導。



20:50

### 自主トレーニング

過酷な災害現場でも負けない体を作るため、消防士は日々の体力作りに余念がない。



20:00

### 夕食

同じ釜の飯を食べ、コミュニケーションを図ることで、チームの結束力を高めている。



1:30

### 仮眠

交代で仮眠する。2時間ごとに、代わる代わる休憩。もちろん、緊急時は出勤する。



2:30

### この時間、指令室では...

119番がかかれば、各消防署、分遣所へ即、情報伝達。そのスピードは10~11ページを参考。



7:20

### 清掃作業

庁舎や任務を共にする相棒である車両へ、感謝を込めながら掃除などを行う。



8:30

### 一日の勤務終了

24時間の勤務が終了し、次の日のチームと交代。皆さん、本当にお疲れさまでした。



市民の安心安全な生活を守るために、24時間体制をとる七尾消防署の動きを追ってみた。七尾消防署は、消防隊と救急隊があり、基本24時間交代で任務にあたっている。一日の始まりは、8時30分に行われる点呼から。特に毎月1日に行われる七尾消防署長による通常点検では、消防署員全員が金色のボタンが輝く制服を身にまとって整列し、手帳などの点検を受ける。消防士は、目線を二点に合わせ、微動だにしない。緊張した面持ちで一日がスタートする。通常、午前中は車両や無線、

装備品類などの点検や、交通事故や火災現場を想定した訓練などが行われる。午後からは、消火栓や防火水槽などの点検を兼ねたパトロールを中心に、事務処理やトレーニングなども行われる。24時間の動きを追ってみて、感じるものがいくつかあった。一つ目は、訓練で感じたこと。市民の防火意識の向上やオール電化の家が普及してきたことで、火災件数が年々減っている。それに伴い、若手消防士は、火災現場の経験数が必然的に少なくなり、実戦訓練での経験を積むしかないのが現状。4年目のある消防士に聞いたところ、出動経験は4回だと言う。年に1度のペースである。二つ目は、人が人を育てるということ。先輩が後輩を育てることは当然だが、2年目の消防士は、後輩が配属されたことで、自身がしっかりとしなければいけないという気持ちが生まれ、意識や行動が大きく変わ

るといふ。三つ目は、消防士は人を救う業務に当たりますが、自分自身の命もまた重要である。「ミイラ取りがミイラになるな」を合言葉に救助活動を行っている。消防士は、火を消すだけの仕事ではない。時には救助活動も行い、時には指令担当も行う。つまり、消防士たちは、オールマイティーに消防業務をこなす集団なのだ。そんな実情が見られる消防士の一日をご覧ください。



※ミイラ取りがミイラになる…人を探しに行った者が戻ってこないために、逆に探される立場になること。